

はじめに

「やさしい英語で外来診療」は、日常診療で外国人患者を診察する機会のある医師や英会話力の向上を望む医療者、さらに米国の医師免許取得 (USMLE) を目標に勉強している医学生などを対象に執筆しました。医療現場で実際に使用可能なフレーズを発音しやすく覚えやすいものになるよう心がけて執筆したため、実際にどのような場面で使用するか想像しやすいものになっていると思います。本書を用いて、大学や病院など身近な場所で日本人同士でも英会話の練習が可能になると思います。

筆者は、元々英語が苦手であり、学生時代の英語の成績は散々たるものでした。しかし、米国臨床留学に興味をもち英語の勉強をしたところ、USMLEに合格でき自分の自信や苦手意識の克服につなげることができました。英語が苦手な筆者がUSMLEを受験するにあたり最も苦労したこと、それは日常診療で使用可能な表現方法を知ることでした。このため、日本にいながら医療英会話を勉強し、練習可能な本があれば！と思い、本書を企画、執筆するに至りました。

本書を執筆するにあたっては、亀田総合病院腫瘍内科 大山優先生に多大なる協力と助言をいただきました。筆者が大山先生に出会いご指導いただく機会をもてたのは後期研修医時代のことですが、グローバルな視点で診療・教育されている姿に衝撃を受けたのを今でも覚えています。その経験は糧となり、現在でも学んだことを生かせるように日々努力しています。また、大学時代からの仲で英会話教師である Jason、現在の研究グループに属したことでも知り合うことのできた遠藤さん、本書の出版趣旨に賛同していただいたいた羊土社と細かい編集に至るまでご尽力いただいた編集部の溝井レナ氏、鈴木美奈子氏に心より深謝申し上げます。

2012年8月

安藤克利